



◇ 住む人と 幸せを分かち合う 家づくり ◇

現在の「ファースの家」は、寒冷地向けエアコンを天井裏とリビングに設置する事を基本としています。そして、天井裏に設置する換気扇は熱交換率96%（最高値）の換気システムを導入する等、高性能化が進んでいます。

北海道は本州のような梅雨がなく夏場は比較的、涼しいとの印象を持つ人が多いのですが昨今、北海道各地で30度を超える暑さが続いています。その為、冬は暖房能力の高い寒冷地向けエアコンの普及率が高まっており、北国と呼ばれる地域でも今や半数以上の世帯にエアコンが導入されています。

昔は無かった、寒冷地向けエアコンを「ファースの家」に導入した事により夏は涼しく、冬は暖かい環境が実現するのです。

また、窓などの開口部は、外部の冷気や熱気の影響を受ける部位でもあります。2枚のガラスを組み合わせてガラス面を通り抜けた熱が中空層を通り、室内側のガラス面に熱を伝え難くするペアガラスが現在、主流となっております。最近では3枚のガラスを組み合わせて2重の中空層に熱の伝わりを抑えるガスを封入したトリプルガラスを標準仕様にする住宅も多くなってきました。これにより、外部の影響を受け難い環境が保てるのです。

そして、住宅内の空気を入れ替える換気システムでは、給気する暑い（寒い）室外の空気を取り入れる際に熱回収（湿気回収も含む）する必要があります。換気扇により室温が変化した温度はエアコンで補う事になる為、給気する空気と室温の温度差を少なくするには熱交換率がとても重要となります。

このように換気システムは冷暖房負荷軽減に大きく貢献する為、現在の「ファースの家」には熱交換率96%もの業界トップクラスの換気システムを搭載しているのです。

更には、ハイブリット空気浄化システム『クリーンファンネル』の設置を推奨しています。給気の際に侵入する花粉・PM2.5や天井裏に集約された空気に含まれるカビやダニ、ホコリなどのハウスダスト、浮遊ウイルスなどを『クリーンファンネル』に内蔵された電子式集塵フィルタで捕集する事で長期間、変わらぬ集塵性能を維持。これを「ファースの家」独自の換気システムに組み込む事により、室内で放出された汚染物質も循環過程で浄化され、キレイな空気が家全体を包み込むのです。

「ファースの家」は開発当初より、硬質ウレタンフォームを専門施工業者により建物の内側に吹付け施工しています。

これにより隙間や継ぎ目のない、高気密・高断熱を実現。床下には自然素材のシリカゲルを改良した専用空気清浄調湿剤『ファースシリカ』を散布し、住宅内の空気を浄化しながら人が快適と感じる湿度に調湿されます。

そして、24時間換気が建築基準法で義務化となる以前から導入していた換気システムにより、天井裏から床下に空気を送り込む際に生じた気圧差で、壁内通気層を通じて空気が上昇し、温度差の少ない生活空間が構築されるのです。

以前の「ファースの家」は、安価な深夜電力を利用した蓄熱式暖房器や電気温水器を採用していました。しかし、現在これらの機器は製造を終了していたり、補修用部品の保有期間が過ぎている機器も多く、更には深夜電力単価の値上げなどもあり、これらの機器は採用を断念せざるを得ませんでした。現在、省エネの潮流で冷暖房はエアコン、給湯はエコキュートの採用が多くなっているのです。エアコンやエコキュートへの入れ替えはもちろんの事、開口部はペアガラスからトリプルガラスへの交換、最新の換気システムへの入れ替え、クリーンファンネルの新設など、築年数に関係なく「ファースの家」は対応可能となっております。

設備機器を長く使うことは大切ですが、故障する時が必ずやってきます。暖房時期の故障であれば代替機で冬場を乗り切ることができますが、給湯機の故障でお湯が使えなくなると生活に大きな支障が出てしまいます。万一の故障に備え、機器の入れ替えやバージョンアップの検討も必要なのです。

ファース本部は住宅性能向上のため日々、開発と研究を重ね、常にバージョンアップを図っています。特化した高気密・高断熱性能と、壁内通気層を空気が通り抜ける「ファースの家」は、少ないエネルギーをムダなく効率的に使えるメリットがありますので、ランニングコストにも目を向け、利便性や快適性が高められた省エネ設備への入れ替えを検討する事をお勧めします。

今も、これからも、皆様の「ファースの家」は進化を続けて参ります。

住む人と 幸せを分かち合う 家づくり

（著：ハウジング事業部 久保田公明）



「ファースの家」・家づくりの情報発信！

YouTube公式チャンネル開設

『ファースチャンネル』

このバナーをクリックするか、QRコードを読み取りご覧聴ください

